

正月特別公演事前学習講座

生誕百年 三島由紀夫「能楽」という底流をめぐって

今年で生誕百年を迎える作家三島由紀夫。小説や評論、戯曲など、多彩なジャンルで活動をした彼は、能楽に魅了され影響を受けたことでも知られています。今年度名古屋能楽堂定例公演は、この三島由紀夫の事跡や作品に関わる能作品をご紹介します。

正月特別公演の能の演目は「翁」と「乱」（猩々乱）。三島は知人に宛てた手紙の中で、「翁」「道成寺」「猩々」という演目の公演の観劇を『バレエみたいな番組のお能を見に行く』と表現しており、その“身体性”にも関心を寄せていたことが伺えます。事前学習講座では、三島を魅了した能の両演目について物語背景や見どころなどをご紹介します。

～『翁（おきな）』あらすじ～

若々しく颯爽たる千歳の舞に始まり、翁の面を舞台でかけたシテによる荘重な祈祷の舞が続く。翁は舞を終えると千歳を従えて退場し、そのあと三番叟が「揉（もみ）之段」と、黒式尉の面をかけ、鈴を持って舞う「鈴之段」の二つの賑やかでダイナミックな舞を舞う。

～『猩々（しょうじょう）』あらすじ～

※正月公演は「乱」の小書き（特殊演出）付きで上演

唐土の揚子江のほとりに、高風という親孝行な男がいた。ある夜、市で酒を売れば富貴の身になるという不思議な夢を見たため、夢の通り酒を売ると商売はたちまち繁盛する。そして市には毎日酒を買いに来る客がいた。だがいくら酒を飲んでもその顔色は変わらない。高風が不思議に思って名を尋ねると、海中に住む猩々だと答えて立ち去る。月の美しい夜、高風が潯陽の江で菊花の酒を持って待っていると、やがて猩々が現れ、共に酒を汲み交わす。猩々は舞を舞い、いくら汲んでも尽きない酒壺を高風に与えて祝福し、消えていく。

ご受講には事前学習講座
チケットが必要です

500円

チケット取扱いについて

チケット発売日：10月16日（木）

チケット取扱い：

名古屋能楽堂 TEL:052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL:052-249-9387（平日9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口

<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

（工事休館などがありますので、ホームページでご確認下さい。）

講座日時

【日 時】 12月13日（土）
14:00～16:00

【会 場】 名古屋能楽堂 会議室

【講 師】 飯塚 恵理人
（椋山女学園大学外国語学部教授）

【定 員】 60名（未就学児入場不可）

※チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

正月特別公演

【1月3日（土）13:00開演】

能「翁」（観世流） シテ／山中 雅志

狂言「三本柱」（和泉流） シテ／井上松次郎

能「乱」（観世流） シテ／久田三津子

指定席 5,200円、自由席（一般） 4,200円

自由席（学生） 2,000円



- 地下鉄鶴舞線「浅間町」①出口 徒歩10分
- 地下鉄名城線「名古屋城」⑦出口 徒歩12分
- 市バス栄13系統（栄～安井町西）
「名古屋城正門前」下車すぐ
- なごや観光ルートバス メーグル
「名古屋城」下車すぐ